

# カネソウ E X ジョイント 免震構造建築用 MX シリーズ

## エキスパンションジョイント 施工要領書・取扱説明書

---

### 対象製品：

壁部（外壁）免震エキスパンションジョイント

X方向片側せり出し式 Y方向ヒンジスライド式

本体パネルステンレス製プレートタイプ 本体パネル巻き込み防止アーム付 **MX22HS**

### 施工およびご使用される前に必ず最後までお読みください

この度は、カネソウ E X ジョイント免震構造建築用をご使用いただき、誠にありがとうございます。

施工する前に、必ずこの「施工要領書・取扱説明書」をご一読いただきますようお願いいたします。

間違った施工・取扱を行いますと、製品のガタツキや損傷、事故につながる可能性がありますのでご注意ください。

なお、施工終了後は本書を御施主様あるいは建物管理者様へ、必ずお渡しいただくようお願いいたします。

本書は、いつでも見られる場所に必ず保管していただくようお願いいたします。

---

### カネソウ株式会社

〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地

**TEL (059) 377-3232 FAX (059) 377-3905**

東京支店

TEL (03) 3433-6645

大阪営業所

TEL (06) 7639-5870

仙台営業所

TEL (022) 214-8088

福岡営業所

TEL (092) 432-2532

URL: <https://www.kaneso.co.jp/> E-mail: [info@kaneso.co.jp](mailto:info@kaneso.co.jp)

この内容は2023年10月現在のものです。仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## ＥＸジョイントを安全にご使用いただくためのお願い

本製品は正しく取り扱うことで、安全にご使用いただけます。  
製品の誤った場所での使用、誤った取り扱い、破損したままの製品を継続して使用することによる、事故の未然防止のため、下記の注意事項をお守りいただくよう、お願いいたします。

### 設計上の注意事項

#### 設計前に必ず使用場所の確認を行ってください。

設計前に必ず使用場所の確認を行ってください。エキスパンションジョイントは、製品によってサイズ・形状・仕様が大きく異なります。設計前に必ず使用場所の確認を行ったうえで、製品を選定してください。本施工要領書・取扱説明書に掲載されている、製品の使用場所以外には使用しないでください。

### 施工上の注意事項

#### 加工をしないでください。

切断、穴あけ、切削、変形などの加工を施さないでください。製品強度の低下や、錆の発生原因となり、事故を引き起こす恐れがあります。

#### 外部からの強い衝撃を与えないでください。

搬入時などエキスパンションジョイントに、衝撃や荷重をかけないでください。破損や変形する恐れがあります。

### 取扱・維持管理上の注意事項

#### 維持管理上の注意について

本体パネルが破損したり紛失した場合は、速やかに取り替えまたは補充をしてください。取り替えまたは補充をしないと、事故などによりケガおよび骨折の恐れがあります。特に地震など大きな変位があった後は、製品の破損状況や本体パネルなどが所定の位置に戻っているか、ガタツキ等がないかを確認し、安全な状況を確認してください。

#### すき間に指を入れないでください。

本体パネルと本体パネルのすき間や、本体パネルと受枠のすき間などに指を入れると、指詰めなどのケガをする恐れがあります。

#### 持ち運びおよび輸送には、充分ご注意ください。

重量の重い部材があります。腰などを痛めたり、足の上に落とすとケガの恐れがあります。

#### 取り付け・取り外しは専門業者に依頼してください。

エキスパンションジョイントの施工および取り扱いについては、製品の機能を維持するため、また、施工・取り付け不良による破損や変形、不具合を防止するためにも、施工要領書・取扱説明書記載の手順を厳守してください。清掃や交換などのメンテナンスが必要な場合は、専門業者に依頼してください。取付方法を誤ると、破損や変形、ガタツキを招き、事故を引き起こす恐れがあります。取り付け・清掃・交換・点検などの際は、必ず作業用手袋を着用してください。

#### ステンレス製品について

ステンレスは、絶対に錆びない金属ではありません。ステンレス製品を美しく保つには、設計、施工上の配慮に加えて、適切な清掃と手入れが必要です。清掃にあたっては、状況に応じた適切な方法を選んでください。また、ステンレス製品のうち、SUS304を使用している製品におきましては、通常、磁性を有しませんが、生産工程における曲げ加工や溶接などにより、加工部分の金属組織が変わり、磁性を持つようになる場合がありますので、ご了承ください。

#### 破損、変形、ガタツキが発生したエキスパンションジョイントは使用しないでください。

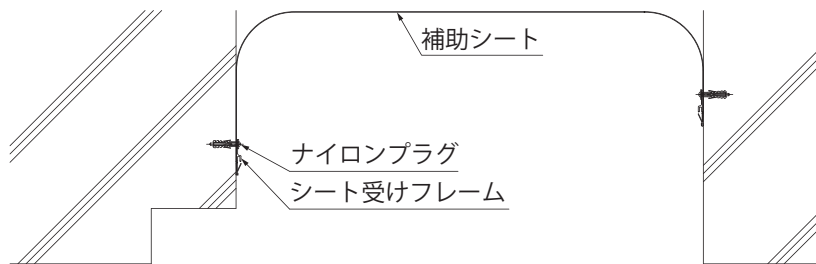
何らかの原因で、破損や変形あるいはガタツキが発生しているエキスパンションジョイントは、強度が著しく低下しており、事故を引き起こす恐れがあります。適正な製品に交換してください。

#### タイル等を清掃する場合の注意事項

タイル等を酸系統（次亜塩素酸ソーダなど）の洗浄液で清掃する場合、金属製品（ステンレス・アルミニウム・鉄・スチールの塗装品および亜鉛めっき品）の錆の発生を防ぐため、金属製品に確実に養生を行うか、清掃後水洗いを十分行ってください。

# 壁部（外壁）免震エキスパンションジョイント MX22HS 施工手順①

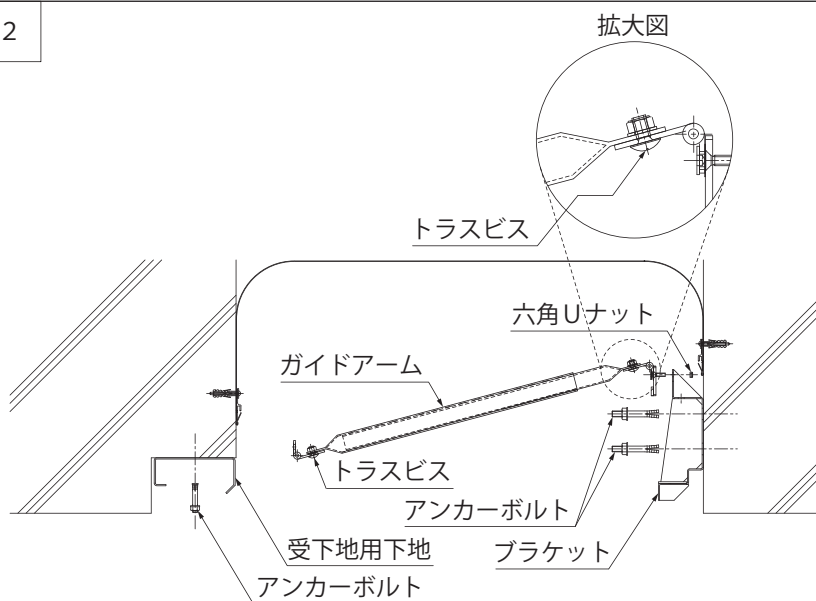
1



施工図に従い躯体を仕上げます。

補助シートが付く場合はシート受けフレームをあて、ナイロンプラグで躯体に固定します。

2



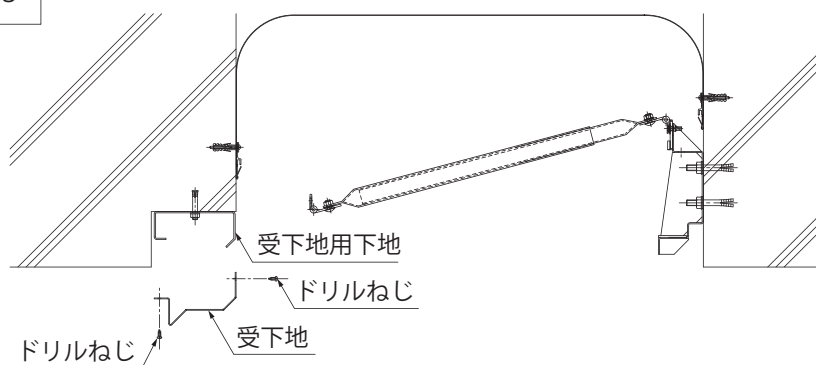
ガイドアームのパイプ径が小さい側をブラケットに六角Uナットで固定します。

※ガイドアームのトラスビスの頭が手前になるようにセットします。

次にブラケットをアンカーボルトで躯体に固定します。

受下地下地をアンカーボルトで躯体に固定します。

3



受下地を受下地用下地の正面と側面にドリルねじで固定します。

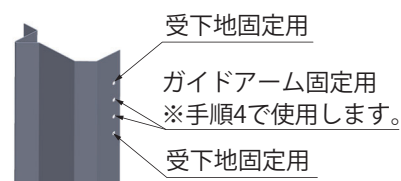
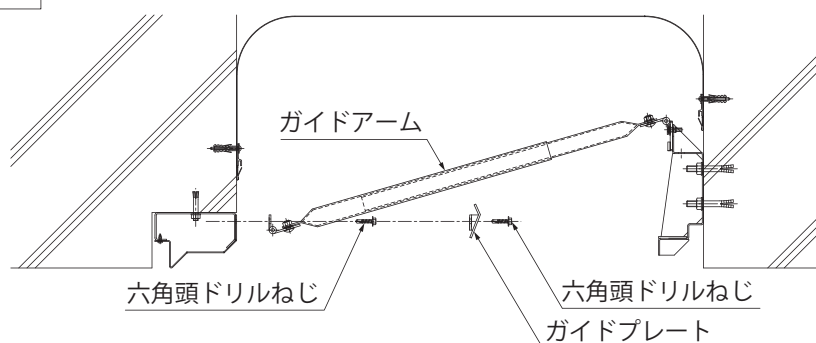


図1 受下地の側面固定部

4

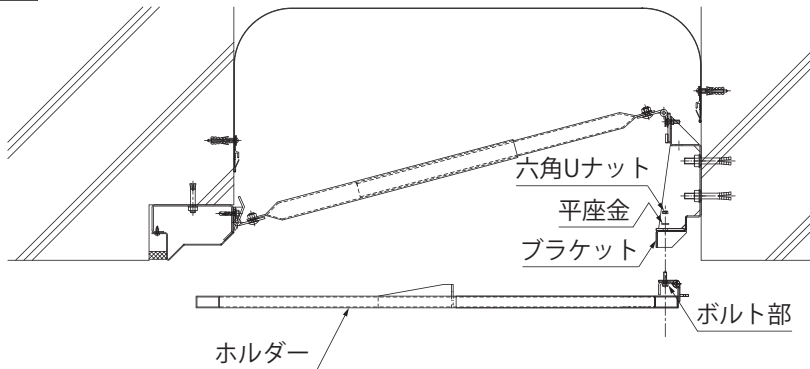


ガイドアームとガイドプレートを受下地側面に六角頭ドリルねじで固定します。

※ガイドアームとガイドプレートの取付高さは同じではありません。

## 壁部（外壁）免震エキスパンションジョイント MX22HS 施工手順②

5



ホルダーのボルト部をブラケットの穴に通し、平座金と六角Uナットで固定します。

ホルダーボルト部  
固定用

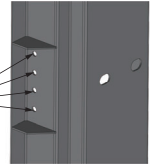
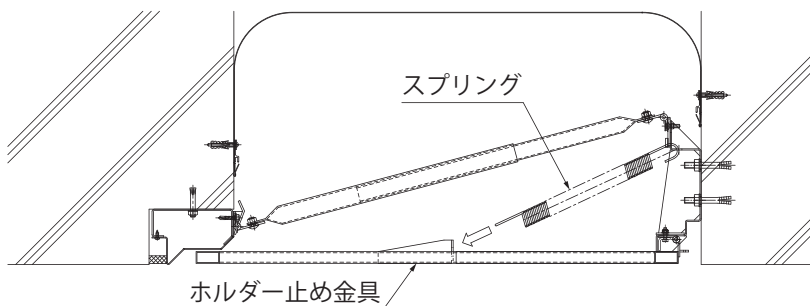


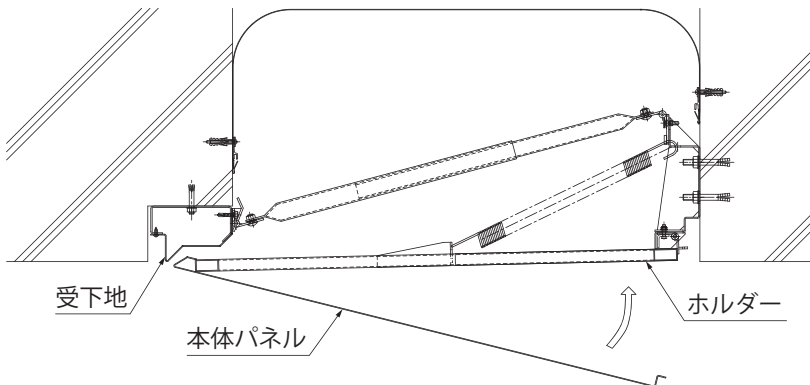
図2 ブラケットの固定部

6



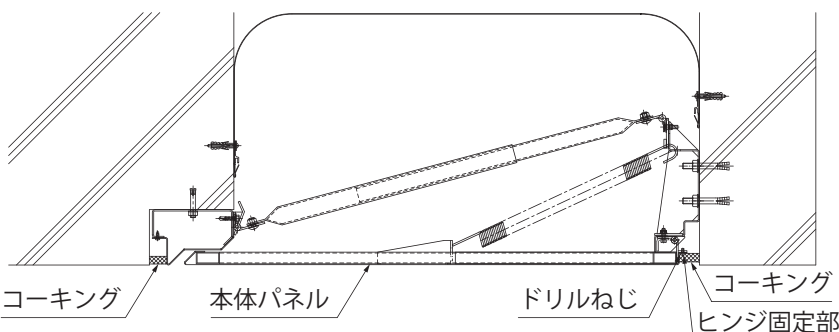
スプリングの片側をブラケットに引っ掛けます。もう片側をスプリングを引っ張りながら、ホルダー止め金具に引っ掛けます。

7



ホルダーのヒンジではない側を手前に引っ張り、本体パネルを受下地側から差し込みセットします。

8



本体パネルとヒンジ固定部をドリルねじで固定します。

コーキングを打ち施工完了です。